

児童通所支援事業所 あいらいく 放課後等デイサービス自己評価表

公表：令和5年2月27日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点や改善すべき点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・但し、まだ、長期休み期間中のような10名前後利用の機会はない為、そうなった場合どうか？	新規事業所として開所して間もないため、今後も利用定員と活動内容等での適切なスペース確保に対して工夫を行ってまいります。
	②	職員の配置数は適切であるか	○		・送迎などで人数不足になることがある	新規事業所として開設して間もないですが、基本的に必要な配置人員は確保しております。今後も支援内容に対して必要な人員配置を検討し、より良い支援を行うことができるよう努めてまいります。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○	・入口の段差、ドアのカギの位置	3階建ての建物の一角を借り受けて実施しているため、全ての点について配慮することができていないと感じております。今後、けがなどがないように注意して支援を行いつつ、建物の管理事務所と協議を行い、改善することができる場合は取り組んでいきたいと考えております。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		・明確な形でPDCAサイクルや業務目標などを提示しているかは？である	業務内容等の改善を行うことができるよう、全ての職員で目標設定を行い、より良い支援につなげることができるように努めます。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			新規事業所として開設した為、今回が初めての評価となります。今後もより良い支援に繋げていくことができるよう、保護者からの意見及び職員間で行っている意見を把握し、改善につなげていくことができるよう努めます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			新規事業所として開設した為、今回が初めての評価となります。特定非営利活動法人まぐねっと25のホームページ内に公開し、事業所内にも掲示する予定です。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		現在、第三者による外部評価は行っていない為、今後、検討を行い、実施することができるよう努めます。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修・セミナー等については、管理者より職員全体に対して、参加希望者を募り参加できるように調整しています。事業所として必須の研修は管理者から各職員へ伝え、参加することとしています。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			児童や保護者のニーズや課題をしっかりと分析し、より良い支援計画の作成ができるように努めます。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			S-M社会生活能力検査を中心に、感覚・行動のアセスメントを行い、児童の状況を把握するように努めています。また、利用開始後には、脳バランスキッズを使用して、現在の児童の状態把握に努めております。

適切な支援の提供

⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			活動のテーマを児童発達支援と同時期に話し合い、その後、テーマに沿った活動プログラム等を職員間で話し合い決定しています。早めに話し合うことで、十分な準備期間やシミュレーションを行うことができていると考えられます。
⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			1週間ごとにテーマが決まっているため、複数回利用がある児童については、難易度や内容に変化をつけるなど工夫しています。
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			利用状況に応じて課題を設定し支援を行うように努めております。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成しているか		○	・人数不足の為、できていない	利用児童の状況に応じて、個別支援計画を作成しているが、個別と集団の活動を適宜組み合わせさせて作成することが難しい状況です。今後の課題として、どのようにすれば、個別活動と集団活動を組み合わせさせて計画の作成ができるか検討を続けていきます。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援内容や役割分担について確認しているか	○			必要な内容の打ち合わせや役割分担は確認されているため、今後も継続していくことができるよう努めます。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか	○		・毎日、一人ひとりの振り返りはできていないが、トラブル等があった際には相談が上司にできている	毎日ではできていない状況です。気になる点や共有する情報については、その都度、伝え合っていますが、その日行われた支援の振り返りは不足していると感じます。毎日の支援の振り返りができるように努めていきます。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			『成長療育支援システムHUG』を使い、日々の支援の記録をしっかりととることができていると考えられます。今後も記録を徹底し、支援の検証・改善につなげることができるよう努めます。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			必要最小限(6ヶ月に1回)のモニタリングで計画の見直しを行っているが、今後は必要に応じてモニタリングを行い、見直しの必要性を判断することができるように努めます。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか		○		ガイドラインの内容を含めているが、児童の状況に合わせて組み合わせることができるように工夫していきます。
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			担当者会議やモニタリングには管理者や児童発達支援管理責任者が参加しています。タイミングが合えば、直接支援を行っている職員も参加し、情報の共有を行うことができるように努めております。
㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校にもよるが、できる限り必要な情報の共有はできるように努めております。
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			基本的には保護者経由でのやり取りとなっています。今後、保護者と相談の上、必要に応じて主治医との連絡体制も検討していきます。

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			移行支援会議等に参加し、情報共有と相互理解を深めることができるよう努めております。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		・これまでそのようなケースはないと思われる	新規事業所として開設した為、現在移行に繋がるケースはまだ出ていません。今後、悲痛用に応じ、情報提供ができるよう準備していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			公開療育や研修等を通じて助言なども羅うことができるようにしています。参加できる職員が限られている状況でもあるため、今後、すべての職員が、交代で参加することができるよう努めます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	・コロナの為	現在、交流を図ることができていません。今後、実施できるように検討を重ねていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			グループ会議や協議会等、参加するチャンスがある時には積極的に参加することができるように努めています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・送迎時に気になることはその度に相談、聞き取りをしている	送迎時など、保護者と気軽に話ができる場を活かしながら状況や課題について共通理解を図ることができるようにしています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		しっかりとしたペアレント・トレーニングができているとは考えられないため、今後、研修を受け、ペアレント・トレーニングに取り組むことができるように努めます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			今後も丁寧な説明ができるように努めます。
	31	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言を支援を行っているか	○			必要に応じて、支援を行っています。継続して相談がしやすい環境を整えていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	・コロナの為 ・新型コロナウイルスの関連もあり、なかなかそのような機会は作れていない	現在、新型コロナウイルス感染症により、実施できていませんが、どのような形であれば支援していくことができるか検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情や相談があった時には、管理者が対応し、必要に応じて、子どもや保護者への周知を徹底していきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎回の利用時の様子等は、『療育支援システムHUG』を導入することで、情報の共有はしやすくなっていると感じます。今後も継続しつつ、定期的な会報等についても検討していきます。
	35	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			ホームページや『HUG』等での情報提供については、保護者の同意が得られた内容のみ、発信しております。それ以外については、基本的に『個人情報使用同意書』で同意を得られた内容の使用にとどめております。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			契約時やモニタリング、担当者会議、面談など、子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達等、こまめに行うことができるよう努めております。また、子どもとの意思疎通や情報伝達に対しては、活動等の支援に対しても配慮するよう努めております。

	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	・コロナの為	新型コロナウイルス感染症の影響で地域の方々を招待することができていません。今後も検討を重ね、地域住民の方々との交流が行えるように努めます。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか		○	・一部は作成中	作成されたマニュアルを基に職員や保護者への周知を徹底し、発生を想定した訓練を行っていきます。また、各委員会等の会議を『あいらいん』『コミュニケーションAREA』と合同開催し、協力を得られる状況等も検討していきます。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		利用児も参加することができるよう、職員で話し合い、実施していきます。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○		外部研修を受講し、事業所内研修で職員間での周知徹底及び現状の見直しを行い、適切に対応できるよう努めております。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		現状は、身体拘束を行っていないが、今後もどのような場面のどのような行為が身体拘束にあたるのか、事業所内でも話し合いを行い、適切な支援ができるよう努めてまいります。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		必要に応じて、医師の指示書に基づいて対応をしていきます。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		必要に応じて、ヒヤリハットを作成しています。事例集の作成にまではいたっていない為、今後、事例集を作成し、事業所内で共有が図れるように努めてまいります。